

ツリーハウスも  
完成します。



住居は全室7.4畳、資料6万円台、家具付きです。左と下の写真はリビングキッチンで、暖炉にソファ、「かもめ食堂」なんかに出てきそうなかわいらしいキッチンなどがあります。竹林が一望できるお風呂も

#### 4 NANJYA MONJYA HOUSE

【なんじゃもんじゃハウス】

横浜駅から市営地下鉄で1駅。駅からは徒歩7~8分で、「住宅地の裏山」といった風の場所。その急斜面に竹林があり、そこに1本だけ、竹ではない大木が立っている。…それは2年前までの光景で、今ではここに大木を囲むようにシェアハウスが建っています。



この木と一緒に暮らしたい、  
そんな思いが形になった家

2010年1月、まずは竹を切ることから始まったそうです。竹林沿いの道は舗装されていない、土の小道。大きな重機は入って来られないため、ほとんどの作業を人の手でやるしかないという状況でした。…ところでお伝えするのが遅くなりましたが、このシェアハウスは「なんじゃもんじゃハウス」と呼ばれていますが、本名は「パウハウス横浜」。正体不明の木=なんじゃもんじゃの木が目印の家です。ここを作ったのは、古い建物をリノベーションした飲食店や古民家シェアハウス「パウハウス」シリーズなどの企画・デザイン・運営まで手がけている「大関商品研究所」。大関耕治さんが2001年にひとりで始め、今では大工の馬場さんや、もとパウハウス南千住の住民で、「動物を飼ったり野菜を育てたりしながらのんびり暮らせるような村を作りたい」という夢が転じて、シェアハウスを個人で作ってしまったというかなちゃんなど、所員全5人という会社です。そんな皆の手で作上げたなんじゃもんじゃハウスは、昨年の12月から入居開始。シェアハウスを仲介する「ひつじ不動産」で募集したところ、全8室はすごい競争倍率の中、即満室になりました。現在は、なんじゃもんじゃの木にツリーハウスを建築中です。今後はツリーハウスも利用していきながら、入居者以外の人も参加可能なイベントを行っていく予定だそうです。



なんじゃもんじゃの木は、各部屋のある建物とリビングをつなぐウッドデッキにあります。なおHPに情報満載で、「プロジェクトブログ」やこの建物ができるまでを記録したYOU TUBEを見ればココの素敵さがしっかりご覧いただけます  
<http://naniya.jp/>

